

# 教育研究業績書

2017年05月29日

所属：生活環境学科

資格：教授

氏名：三好 庸隆

研究分野	研究内容のキーワード
都市環境デザイン学・建築計画学	都心・郊外再生、ニュータウン計画、エリア・マネジメント、団地再生、住宅地計画、建築設計
学位	最終学歴
博士（工学）、工学修士、工学士	大阪大学大学院 工学研究科 建築工学専攻 修士課程 修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 教育方法の実践例</b>		
	2007年～	三好が計画・設計した、又はしているプロジェクトを紹介したり、完成しているプロジェクトについては、視察をするなどして、できるだけ具体的に教育することを試みている。
	2007年～	三好が計画・設計した、又はしているプロジェクトを紹介したり、完成しているプロジェクトについては、視察をするなどして、できるだけ具体的に教育することを試みている。
<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 教材について	2007年～	建築計画、企画、設計指導などで用いる教材は、実務家としての豊富な経験を生かし、自分がかかわってきたプロジェクト、設計実例を多く使用した。それによって、学生がリアリティを感じられるものと思われる。
2. 教材について	2007年～	建築計画、企画、設計指導などで用いる教材は、実務家としての豊富な経験を生かし、自分がかかわってきたプロジェクト、設計実例を多く使用した。それによって、学生がリアリティを感じられるものと思われる。
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
	2007年～	実務者として多数のプロジェクト（建築設計、ニュータウンおよび住宅地設計、まちづくりなど）に参画、完成させてきているので、教育現場で、学生にその実績、プロセスなどを見せて、具体的な指導ができる。
	2007年～	実務者として多数のプロジェクト（建築設計、ニュータウンおよび住宅地設計、まちづくりなど）に参画、完成させてきているので、教育現場で、学生にその実績、プロセスなどを見せて、具体的な指導ができる。
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 工学博士	2005年03月	論文「郊外ニュータウンの持続的発展方策に関する基礎的研究 一兵庫県三田市のニュータウンと既成市街地との比較分析を通して一」で、大阪大学より授与される
2. 一級建築士	1977年03月	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
	2007年～	実務者として多数のプロジェクト（建築設計、ニュータウンおよび住宅地設計、まちづくりなど）に参画してきているので、教育研究分野と産業界・公的分野と有機的に連携を図ることができる。このことは学生への就職指導についても、極めて具体的な指導ができる。
<b>4 その他</b>		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. 生活をデザインする	共	2011年10月	光生館	「第4章 地域のデザイン」の「4. 地域を計画するということ」を担当執筆。
2. 都心・まちなか・郊外—京阪神大都市圏の将来	共	2010年04月	株式会社 晃洋書房	本書は京阪神大都市圏の継続的な人口減少状況を踏まえ、これからの都心・まちなか・郊外の在り方について論じている。編著者は、広原盛明、高田光雄、角野幸博、成田孝三の各氏で、三好庸隆は「第II

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
3. 英国田園都市の過去・現在・未来	共	2002年	千里国際情報事業財団	部 郊外編」の「第7章郊外ニュータウンのオール ドタウン化とその再生—公共・民間セクターのコラ ボレーション」を担当。
4. 都市デザインの仕事	共	2001年	学芸出版社	英国の田園都市・レッチワースについてその計画内 容とまちづくり上の意義について齋木崇人が紹介し 、当時計画中の国際文化公園都市・彩都について事 業者サイドから植松宏之が、プランナーサイドから 三好庸隆が講演したものをまとめた本である。
5. <まちづくり>への新発想—その可 能性と18の視点	単	1998年	建築資料研究社	本書は鳴海阪大教授（当時）ほか都市環境デザイン 分野で活躍中の研究者、実務者が同分野の具体的仕 事内容について論じたもの。三好庸隆 は、都市計画、まちづくり、建築設計分野を横断す る仕事の実状と魅力について執筆している。
6. ガレキ=都市の記憶—ポスト震災 のアートスケープ	共	1996年	樹花舎	本書はこれからのまちづくり、都市環境デザインに ついて、主な分野について、その可能性と具体的考 えについて論じたものである。
7. デ・アーキテクチャー—脱建築と しての建築	共	1992年3月10 日	鹿島出版会SDライブラ リー	阪神・淡路大震災後、都市の記憶について、建築家 である三好庸隆、貴志雅樹、北村陸夫と芸術家・今井 祝雄の4名が議論し、展覧会、論文等で活動した内 容をまとめたもの。 J. ワインズ著の翻訳。大島哲蔵氏と共訳。
<b>2 学位論文</b>				
1. 郊外ニュータウンの持続的発展方 策に関する基礎的研究 —兵庫県 三田市のニュータウンと既成市街 地との比較分析を通して—	単	2004年12月		三好の博士（工学）論文。 戦後の代表的都市・住宅施策のひとつである大都市 郊外ニュータウンは、人口減少・人口都心回帰現象 を背景に、ニュータウンの高齢化・人口減少に伴う 生活環境施設（例えば商業施設）等の魅力低下等が 危惧される。そのような問題意識から、郊外ニュー タウンの持続的発展方策について、実証的に論究し た論文。
<b>3 学術論文</b>				
1. 「シェアハウス」に関する研究 動向	共	2014年6月	平成26年度日本建築学 会近畿支部研究発表会	司馬麻未、三好庸隆
2. シェアハウスの暮らしの実態につ いて—シェアハウスの動向と実態 に関する研究（その2）	共	2012年6月	平成24年度日本建築学 会近畿支部研究発表会	司馬麻未、鈴木優里、三好庸隆
3. 近年におけるシェアハウスの動向 について—シェアハウスの動向と 実態に関する研究（その1）	共	2012年6月	平成24年度日本建築学 会近畿支部研究発表会	司馬麻未、鈴木優里、三好庸隆
4. 国際文化公園都市<彩都>での、 集合住宅地計画	単	2006年10月	社団法人生産技術振興 協会発行、大阪大学生 産技術研究会編集 「 生産と技術」2006年秋 号	三好の、国際文化公園都市<彩都>での集合住宅地 計画における試みを述べるとともに、これからの郊 外住宅地開発について論じている。
5. 郊外マンション供給の新たな展開	単	2006年02月	日本マンション学会誌 「マンション学 第23 号」	「特集 地方・郊外のマンション」における三好の 論文。現在進行中の郊外住宅地、マンション計画に おける考えをまとめたもの。 （日本マンション学会からの依頼論文）
6. 兵庫県三田市のニュータウンにお ける居住者の地域活動への参加意 向等の分析 —郊外ニュータウン の持続的発展方策に関する基礎的 研究（その3）—	共	2005年02月	日本建築学会計画系論 文集 No.588	三好庸隆、柏原士郎、吉村英祐、横田隆司、飯田匡 、川村崇
7. 兵庫県三田市のニュータウンにお ける地域施設の利用満足度と施設 要求 —郊外ニュータウンの持続 的発展方策に関する基礎的研究（ その2）—	共	2004年08月	日本建築学会計画系論 文集 No.582	三好庸隆、柏原士郎、吉村英祐、横田隆司、飯田匡 、川村崇
8. 兵庫県三田市のニュータウンにお ける居住意識構造の分析 —郊外 ニュータウンの持続的発展方策に 関する基礎的研究—	共	2003年09月	日本建築学会計画系論 文集 No.571	三好庸隆、柏原士郎、吉村英祐、横田隆司、飯田弘 一、川村崇
9. 三田市ウッディタウン等における 居住者の地域活動への参加意向等 の分析 —郊外ニュータウンの持 続的発展方策に関する基礎的研究 （その3）—	共	2003年07月	日本建築学会地域施設 計画研究 No.21	三好庸隆、柏原士郎、吉村英祐、横田隆司、飯田匡 、川村崇
10. 神戸市<山の街>住宅地・近隣セ ンターのクリニック系生活支援セ ンターへの転換事例 —郊外ニュー タウンの持続的発展方策に関する 基礎的研究（その5）—	共	2003年07月	日本建築学会地域施設 計画研究 No.21	三好庸隆、鶴野弘志、川村崇 多くの郊外ニュータウンは、“近隣センターの衰退 ”という課題を抱えており、コミュニティ形成上、 大きな問題ともなっている。本論文では、三好が、 神戸市<山の街>の閉鎖されていた近隣センターを 、クリニック系生活支援センターとして再生させた

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>3 学術論文</b>				
11. 三田市ウッディタウン等における地域施設の利用満足度と施設要求の分析—郊外ニュータウンの持続的発展方策に関する基礎的研究(その4)—	共	2003年07月	日本建築学会地域施設計画研究 No.21	事例を、計画論的視点から分析し、報告している。 三好庸隆, 柏原士郎, 吉村英祐, 横田隆司, 飯田匡, 川村崇
12. 兵庫県芦屋市における地区特性別にみた居住者の地域施設の利用実態と住環境の評価構造について—郊外ニュータウンの持続的発展方策に関する基礎的研究(その2)—	共	2002年07月	日本建築学会地域施設計画研究 No.20	横田隆司, 柏原士郎, 三好庸隆, 吉村英祐, 飯田匡, 伊丹康二, 川村崇, 小島幸子
13. 三田市ウッディタウン等における居留意識構造の分析—郊外ニュータウンの持続的発展方策に関する基礎的研究(その1)—	共	2002年07月	日本建築学会地域施設計画研究 No.20	三好庸隆, 柏原士郎, 吉村英祐, 横田隆司, 阪田弘一, 川村崇
14. 一対比較アンケートからみた人の求める住環境要素の分析—魅力的な住環境のあり方に関する研究(その2)—	共	2002年06月		大浦寛登, 柏原士郎, 吉村英祐, 横田隆司, 飯田匡, 三好庸隆, 川村崇
15. 住環境の異なる3地区における住民意識の比較分析—魅力的な住環境のあり方に関する研究(その1)—	共	2002年06月		横田隆司, 柏原士郎, 吉村英祐, 飯田匡, 三好庸隆, 川村崇, 大浦寛登
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
1. 日本生活学会第42回研究発表大会 公開シンポジウム「生活と公共」ゲストスピーカー		2015年6月27日		暮らしに誇りと輝きを取り戻す「生活と公共」のプラットフォームはいかに創造されるか—くまちづくり>からくまちづくりソーシャルデザイン>へ
2. 日本都市計画家協会関西支部		2007年02月		明舞団地再生コンペ最優秀賞をうけて
3. (社)都市住宅学会 第14回全国大会・学術講演会(京都)		2006年11月		ワークショップ4—団地再生の第2ステージ (パネラー)
4. (社)都市住宅学会 第13回全国大会・学術講演会(つくば)		2005年11月		ワークショップ2—団地再生の理想と現実 (コーディネーター 兼 司会)
5. (社)都市住宅学会関西支部 都心郊外の共生をめざす大都市居住研究委員会		2005年08月		郊外ニュータウンの持続的発展について
6. (社)都市住宅学会関西支部 総会		2005年05月		クルマに依存しない郊外生活の可能性—箕面市の場合 (コメンテーター)
<b>2. 学会発表</b>				
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術(建築模型等含む)・スポーツ分野の業績</b>				
1. 団地再編COMPETITION河内長野市長賞		2013年	関西大学KSDP団地再編プロジェクト主催, 河内長野市共催の提案競技	河内長野市UR南花台団地を想定した、団地再編に関する提案コンペで2位となる。大学院生 大井理恵との共同受賞。
2. 明舞センター地区(商業・住民交流ゾーン)第1期再生事業提案競技当選		2011年	兵庫県住宅供給公社主催の事業提案競技	明舞団地の再生計画の目玉事業として、センター地区の第1期再生事業内容の提案と事業者を求める提案競技が行われ、三好庸隆全体監修、PPI計画・設計研究所基本計画、実施設計施工・大和ハウス工業、事業主体ダイワロイヤルのチームが当選する。実施に移され、2013年3月に兵庫県知事列席のもと、オープンした。
3. 明舞団地再生コンペ		2006年04月	兵庫県、兵庫県住宅供給公社が主催の提案競技。	ここ数年、都市計画・建築計画の分野で、団地再生が大きなテーマとなりつつある。そのような中で、兵庫県、神戸市、明石市、都市再生機構、兵庫県住宅供給公社などで構成される明舞団地再生コンペ委員会主催のコンペが開催され、三好案(提案チーム名は、「大阪ガス・PPIグループ」)が、最優秀賞を受賞。
4. 茨木市都市景観賞		2005年02月	茨木市	三好が基本構想・基本計画を策定した、国際文化公園都市<彩都>の阪急彩都あさぎガーデンビレッジ(67戸の戸建住宅地)が第4回茨木市都市景観賞を受賞(受賞者名は、阪急彩都開発株式会社)
5. 国土交通省住宅局主催・第16回住宅月間功労賞		2004年10月	国土交通省住宅局	三好がマスタープランナーとして指導した、国際文化公園都市<彩都>のジオ彩都みなみ坂(444戸の集合住宅)が、国土交通省住宅局主催・第16回住宅月間功労賞表彰の法人部門・国土交通大臣賞を受賞(受賞者名は、阪急彩都開発株式会社)
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				

